

マイペース、でも最強説

イ・ナユン

皆さんは、高校生の時、夢がありましたか？私は高校2年生のときまで、進みたい学科や進路を決められないまま、毎日不安の中過ごしていました。韓国では比較的早い時期から進路を決めて入試準備をする文化があるため、夢に向かって進む友達を見て自分だけ遅れているように感じ、焦ることが多かったです。ときどき「私は何のために頑張っているんだろう」と思い、深い挫折を経験した時期もありました。しかし今振り返ると、そのときの私に本当に必要だったのは焦りではなく、自分と向き合う時間だったということに気づきました。

自分がやりたいことを見つける時間はかかりましたが、高校の授業で初めて日本語を学び、日本語の魅力に惹かれ、「いつか日本に留学したい」という夢が自然に生まれました。その夢が今の私を大きく変えてくれました。もともと私は学校行事にあまり関心がなく、学校生活では静かに過ごすことが多いタイプでした。しかし、目標ができてからは、自分の可能性を広げ、新しいことに挑戦したいと思い、勇気を出して生徒会長に挑戦しました。運よく当選し、最初は不安もありましたが、人前で意見を伝えたり行事を作り上げたりする中で自信が付き、成長できたと感じました。大学に入ってから目標のために、毎日勉強し、良い成績を取り、成績の奨学金をもらって大学に通っていました。

そして今、夢だった日本留学を実験し、横浜国立大学の交換学生として生活しています。私はバンドサークルに入り、日本人の友達と一緒に韓国の曲を演奏したり様々な活動に通して、自分の世界が広がっていることを実感しています。時々思います。もしあの時、焦る気持ちに流されて進路を決めていたら、今の私はいなかったと思います。だからこそ、あの頃の自分にこう伝えたいです。

「遅くても大丈夫。焦らずに、本当に進みたい道を考えてみて。すぐに答えが見つからなくても、その悩む時間がきっとあなたを強くしてくれるから。」人生には決められたスピードなんてないと思います。速く走る人もいれば、ゆっくり歩く人もいます。大切なのは“誰よりも早く”ではなく、“自分らしく”進むことだと思います。

不安だった過去を乗り越え、今の私は新しい可能性の中で歩んでいます。これから迷うたびに、あの頃の自分のように、もう一度自分と向き合っていきたいと思います。

以上です。ご清聴ありがとうございました。